



今月の  
イチオシ



なぜ、人は栃木に魅せられるのか

Delphiの会 編著  
随想舎

世界遺産・日光の社寺に代表される歴史と文化をはじめ四季を彩る美しい自然、受け継がれる伝統、暮らしを結ぶ街道など、栃木県の魅力を日本語と英語で紹介。オールカラーの美しい写真を多数掲載する。  
(石・国・南)

図書館であなたの人生の一冊に出会おう

# 読書人

今月のテーマ

「栃木を知ろう」

今月は栃木に関連する本をご紹介します。歴史、文学、農業、様々な観点からあなたの知らない栃木の魅力を発見できるかもしれません！

図書館では他にも郷土関連の本をご用意しておりますのでぜひご利用ください。



ぶどう畑で見る夢は

小手鞠 るい 著  
原書房

ひとりの教師がぶどう畑を開墾したことからはじまった…。足利市にある「こころみ学園」の歩みをもとにしたノンフィクション。(国)



栃木で「名字の地」を探してみた。

大金 土之彦 著  
下野新聞社

栃木県内、名字の由来になった土地を推定した一冊。その数なんと約500。著者の名字「大金」のルーツにも迫ります。(石・国・南)



常野記

大金 義昭 著  
随想舎

明治150年を機に「下野・常陸」の幕末・維新を探訪！激動期に生きた先人から生きる力を学び取り、地域の底力を探り当てる。(石・南)



馬頭温泉物語

高杉 治憲 著  
下野新聞社

那珂川町の温泉郷の成り立ちと、徳川光圀との係わり合いを筆者の筆力と知見で掘り起こして描いた表題作の他、6編を収録。(石)



フミ物語  
想い出の足利デパート

小沢 君江 著  
緑風出版

大正・昭和の時代に、当時はめづらしかつたデパートを足利に創設した母。商売一筋で事業に奔走した母の姿を娘である著者が描いている。(南)



食と農でつむぐ  
地域社会の未来

宇都宮大学農学部  
農業経済学科 編  
下野新聞社

「栃木県」というくくりで農業を語った本ではない。食料、生命、環境等の領域に広がる農業を様々な視点から書かれている。(国・南)

◇紹介文の最後に、所蔵している図書館を表示してあります。【(石)=石橋 (国)=国分寺 (南)=南河内】  
所蔵館以外でも予約をかけていただければ貸出しが可能です。詳しくは図書館にお尋ねください。  
石橋図書館 ☎(52)1136 / 国分寺図書館 ☎(44)3399 / 南河内図書館 ☎(48)2395

